

**日本 GAP 協会 会員部会<IT・標準帳票部会>  
第三回会合  
- JGAP の基準をベースとした栽培情報（使用農薬等）をやり取りする  
共通の書式の開発を目指して-**

日頃より、JGAP 普及にご協力頂き、誠にありがとうございます。

これまで2回の部会を経て、皆様のご意見を参考に日本 GAP 協会・標準書式「栽培情報」の最終案を作成しました。最終的な審議のために、部会の第三回目を下記の通り行います。

同じ会場にて、JGAP 認証農場におけるデータ収集・管理・活用について（独）農研機構が全国の JGAP 認証農場にアンケート調査した結果について報告をして頂きます。農業現場が活用するシステムを構築する IT 企業にとって、とても参考になる報告です。

最後に、総務省からの受託事業「情報流通連携基盤の生鮮農産物トレーサビリティ情報における実証」事業について、会員企業の野村総合研究所よりご紹介を致します。

盛りだくさんの内容です。ぜひ、ご参加ください。

日時	2013年3月19日 14時00分から17時00分
場所	日本 GAP 協会（東京都千代田区紀尾井町3番29号 日本農業研究所ビル）
対象者	① 日本 GAP 協会会員および関係者 / ② その他
議題	① 日本 GAP 協会・標準書式「栽培情報」の最終案のご説明と審議  ② 話題提供「JGAP 認証農場におけるデータ収集・管理・活用について」 若林勝史（（独）農研機構 北海道農業研究センター）  ③ 「情報流通連携基盤の生鮮農産物トレーサビリティ情報における実証」事業の紹介 （株）野村総合研究所
参加費	日本 GAP 協会会員および関係者：無料 / 会員以外：2,000 円（当日現金でお支払お願い致します）
担当	横溝／武田 TEL：03-5215-1112

<3月14日までに参加お申し込みください FAX 番号：03-5215-1113>

会員名		担当		電話	
携帯		FAX			
E-Mail					
☑をお願いします。		<input type="checkbox"/> 3月19日の第三回会合に参加する			
		<input type="checkbox"/> 3月19日の第三回会合後の懇親会（会費5,000円）に参加する			
<日本 GAP 協会・標準書式「栽培情報」（案）に対するご意見などご記入ください>					

## 参考：日本 GAP 協会 会員部会のご紹介

会員部会	部会の概要 (設置当初の目的や狙いなど)
農薬・肥料・資材部会 (既設)	農薬、肥料、その他の農業資材に関係した会員を中心に組織する。それらの技術的な審議や啓もう活動を行うほか、技術委員会への JGAP 基準改定の提言や、農業現場への JGAP 指導手法の開発・発展を目標とする。
輸出部会 (既設)	日本産農産物の輸出に関係した会員を中心に組織する。JGAP の海外での普及や啓もう活動を行い、JGAP 認証農場の海外進出を支援し、日本産農産物の輸出を促進することを目的とする。
IT・標準帳票部会 (既設)	IT および流通に関係した会員を中心に組織する。農薬使用履歴など栽培情報を生産側と流通側でやり取りする標準帳票の設計や、IT による情報の共有化などの審議を行う。
農業経営・金融部会 (既設)	農業経営と GAP の関係性に関する研究や、農業向け融資に関する会員を中心に組織する。外部の研究者も参加する「農業経営と GAP に関する研究会」を運営し、JGAP 導入によって、農業経営がどのように改善されたのか定性的に把握するとともに、定量化できる部分については定量的に計測する。
消費者・普及部会	消費者と接する小売および流通に関係する会員を中心に組織する。JGAP の消費者向け普及を目指し、その方法や取り組みを審議・実施する。外部の有識者も参加する普及委員会を運営する。
外食・加工食品部会	外食業および加工食品に関係する会員を中心に組織する。外食業界や加工食品業界での JGAP 普及を目指し、その方法や取り組みを審議・実施する。
分析・放射能部会	分析機関、分析機器および放射能検査・対策に関係する会員を中心に組織する。農業者・流通事業者が活用しやすい分析方法・分析機関のあり方を審議する。技術委員会への JGAP 基準改定の提言も行う。

\*会員部会の設置に関する規約「会員部会の規約」[http://jgap.jp/LB\\_01/kaiinbukai\\_kiyaku.pdf](http://jgap.jp/LB_01/kaiinbukai_kiyaku.pdf)

### <皆様へのお願い>

本 FAX が届いている方は、日本 GAP 協会にメールアドレスが登録されていないことを意味しています。メールアドレスを登録される方は「メールアドレス登録」と記載の上、[info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp) にメール送付をお願い致します。

日本GAP協会 標準書式「栽培情報」青果物 (Ver 0.7) 様式1(計画) 団体名・農場名:農事組合法人 大空園 記入者: 記入日: / / 標準帳票No:

◆栽培基本情報(概要)

FCP商品紹介シートの添付 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	品目	作付年度	産地行政区分	出荷先(得意先)	栽培期間	栽培方法	総栽培面積
	品種	作型	表示可否(特裁等+認証番号)	出荷期間	収穫期間	栽植株数/反	総予定収量
	大根	2012年度	東京都	〇〇スーパー	2012/08~2013/03	施設栽培	400a
	夏の翼・冬侍	秋・冬作	なし	2012/11~2013/03	2012/11~2013/03	5000本	140t

◆農場(団体)基本情報

栽培情報の管理主体 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体	氏名	住所	TEL	FAX	携帯番号	E-Mail	
	生産者名/団体代表者名	農事組合法人 大空園 日本 太郎	〒123-4567 東京都千代田区紀尾井町〇〇〇	03-1234-5678	03-1234-5679		
	代表生産者	東京 二郎	〒123-4567 東京都千代田区紀尾井町〇〇〇	03-1234-5678	03-1234-5679	090-1234-5678	
	栽培確認者	千葉 三郎	〒123-4567 東京都千代田区紀尾井町〇〇〇	03-1234-5678	03-1234-5679	090-1234-5678	000000@jgap.jp
	営業担当者	茨城 四郎	〒123-4567 東京都千代田区紀尾井町〇〇〇	03-1234-5678	03-1234-5679	090-1234-5678	000000@jgap.jp

◆生産者情報

農薬および肥料の使用計画の管理主体 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体	役割	JGAP登録番号	氏名	住所	圃場のある市町村	出荷期間	栽培面積(合計)	圃場枚数	予定収量(合計)
	栽培責任者	AAA-9-9999999999	神奈川 五郎	〒123-4567 東京都千代田区紀尾井町〇〇〇	東京都千代田区	2012/11/1~2013/2/25	200a	14	70t

◆農薬使用計画

慣行基準農薬成分回数	種子消毒成分カウント	計画時農薬成分削減割合
12回	2	75%削減

農薬No.	製造メーカー	農薬登録番号	農薬名	成分名	使用目的	病害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数	使用量(ノ10a)	成分カウント	使用ステージ
1	日本曹達(株)	第19112号	モスピラン水溶剤	アセタミプリド	殺虫・殺菌・除草・土壌消毒	アブラムシ類	2000~4000	収穫14日前まで	1回	100~300L	1	育苗(本圃)
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃
					殺虫・殺菌・除草・土壌消毒							育苗・本圃

◆肥料使用計画

慣行基準化学合成窒素成分量	計画時化学合成窒素成分削減割合
9kg/10a	56%削減

肥料No.	製造メーカー/自作	登録/届出番号	肥料名	原材料	使用量(ノ10a)	使用目的	N	P	K	Ca	Mg	化学窒素含有率	使用ステージ
1	日東エフシー	生第47790号	8-8-8化成肥料		50kg	元肥・追肥・土壌改良・葉面散布	8	8	8			100%	育苗(本圃)
2	自作		堆肥	牛糞		元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗(本圃)
						元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃
						元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃
						元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃
						元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃
						元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃

日本GAP協会 標準書式「栽培情報」青果物 (Ver 0.7) 様式2(実績) 団体名・農場名:農事組合法人 大空園 記入者: 記入日: / / 標準帳票No:

◆栽培基本情報(概要)

FCP商品紹介シートの添付 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	品目	作付年度	産地行政区分	出荷先(得意先)	栽培期間	栽培方法	総栽培面積
	品種	作型	表示可否(特裁等+認証番号)	出荷期間	収穫期間	栽植株数/反	総予定収量
	大根	2012年度	東京都	〇〇スーパー	2012/08~2013/03	施設栽培	400a
夏の翼・冬侍	秋・冬作	なし	2012/11~2013/03	2012/11~2013/03	5000本	140t	

◆生産者情報

農業、肥料使用計画の管理主体 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体	JGAP登録番号	氏名	住所	出荷期間	栽培面積(合計)	圃場枚数	予定収量(合計)
	AAA-9-9999999999	神奈川 五郎	〒123-4567 東京都千代田区紀尾井町〇〇〇	2012/11/1~2013/2/25	200a	14	70t

◆圃場情報

圃場No.	圃場名	圃場所在地	品種	栽培期間	播種日	栽培方法	使用農薬成分回数	農薬成分削減割合	ドリフト対策(飛来)	放射線量(Sv/h)
			圃場面積	収穫期間	定植日	表示可否(特裁等+認証番号)	使用化学合成窒素量	化学合成窒素成分削減割合	ドリフト防止策(飛散)	土壌の放射線量参考値(Bq/kg)
			予定収量	出荷期間	土壌分析の有無	前作栽培品目		前作収穫終了日	農作物の放射線量参考値(Bq/kg)	
C-1	ビニールハウス	東京都千代田区紀尾井町〇〇〇		2012/08/1~2012/11/25	2012/9/1	施設栽培	3回	約75%削減		
			7a	2012/11/1~2012/11/25	-	なし	3.44kg/10a	約62%削減		
			2.45t	2012/11/1~2012/11/30	有・無	パセリ				

◆種子情報

使用圃場No.	品種名	種苗の入手先(購入/自作)	使用農薬の成分(使用回数)	成分カウント	生産地	販売者(メーカー)
C-1	夏の翼	購入種/苗・自家採種・自家育苗	イプロジオン(1)、キャプタン(1)	2	ベトナム	
	冬侍	購入種/苗・自家採種・自家育苗	チウラム(2)	2	中国	

◆農薬使用実績

農薬使用責任者										
神奈川 五郎										
使用圃場No.	使用日	農薬No.	農薬名	病害虫名	希釈倍数	使用量	使用方法(機械洗浄Check)		作業者名	成分カウント
C-1	10月10日	1	モスピラン水溶剤	アブラムシ類	2000	210L	動噴	<input checked="" type="checkbox"/>	本人	1
								<input type="checkbox"/>		
								<input type="checkbox"/>		
								<input type="checkbox"/>		

◆肥料使用実績

施肥責任者										
神奈川 五郎										
使用圃場No.	使用日	肥料No.	肥料名	使用量(/10a)	化学合成窒素量(/10a)	使用方法(機械洗浄Check)		作業者名		
C-1	8月20日	1	8-8-8化成肥料	43kg	3.44kg	動噴	<input checked="" type="checkbox"/>	従業員		
							<input type="checkbox"/>			
							<input type="checkbox"/>			